

携帯電話の危険性から

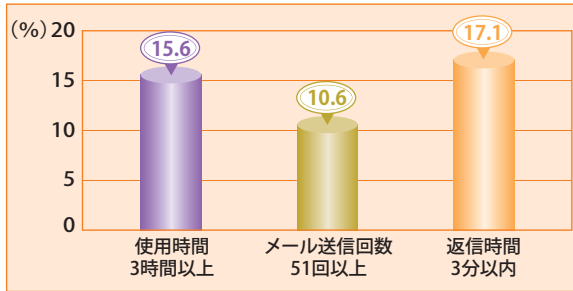
子どもたちを守りましょう!

「平成20年度携帯電話の利用についての実態把握調査から」

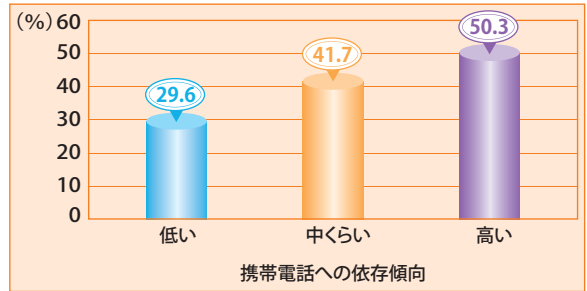
携帯電話への依存が、学習の妨げになっています。

- 中学校1年生では、1日の使用時間3時間以上が6人に1人、メール送信回数51回以上が10人に1人、メールへの返信時間3分以内が6人に1人となっており、携帯電話を手放せない子どもたちの存在が明らかになりました。
- 依存傾向の高い子どもたちの2人に1人は、1日の学習時間が30分以内と答えています。

■中学校1年生の携帯電話への依存



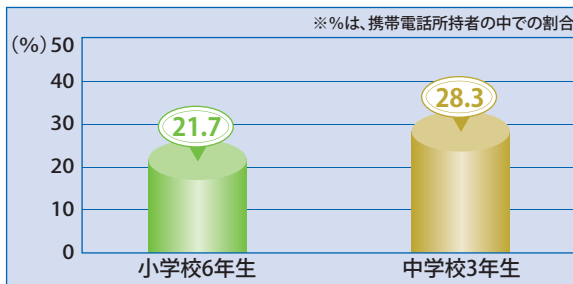
■学習時間が0～30分の児童生徒



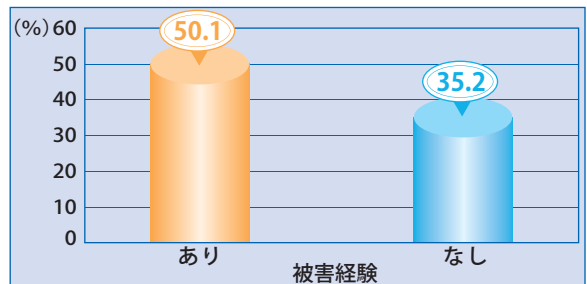
多くの子どもたちが、携帯電話によるいじめ等の被害にあっています。

- 掲示板やブログによる悪口等、被害経験は中学生で急増し、小学生にも広がっています。
- 被害経験のある子どもの2人に1人が、サイトをよく利用していることがわかりました。

■携帯電話によるいじめ等の被害にあった経験のある児童生徒



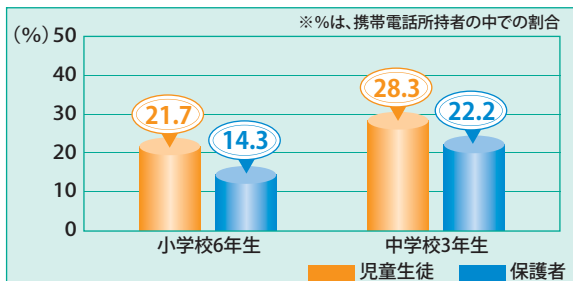
■サイト(掲示板・ブログ)をよく利用する児童生徒



子どもとの認識のちがいが、被害の深刻化につながります。

- 保護者が思っているより、子どもたちは携帯電話によるいじめ等の被害にあっています。
- 保護者が思っているより、子どもたちは「家庭で約束していない」と思っています。

■「携帯電話による被害経験がある」と回答した児童生徒と保護者



■「携帯電話のルールを約束していない」と回答した児童生徒と保護者

